

## 草津市情報化アクションプランの前年度評価および今年度の取組について

### ■実行計画について

- ・草津市情報化アクションプランは、草津市情報化推進計画の実行性を担保するための個別事業、スケジュールを定めたものです。
- ・4月に各課に照会を行い、既存の取組の令和2年度における自己評価と令和3年度の取組内容を記載しております。
- ・今回、新たに掲載した事業はありません。

### ■令和2年度の評価について

「実績の検証評価」については、5段階で評価を行う。

#### 評価指標

|   |                               |
|---|-------------------------------|
| 5 | 計画以上の取組みを実施し、目標を大きく超える成果があった。 |
| 4 | 計画どおりの取組みにより、目標以上の成果があった。     |
| 3 | 計画どおりの取組みにより、成果があった。          |
| 2 | 取組みを行ったものの、思うほどの成果は得られなかった。   |
| 1 | 取り組まなかった、または、取り組むことができなかった。   |

- ・ほとんどの事業が計画どおり取組を行い、目標に見合う成果を上げることができました。(評価3)
- ・目標以上の成果があったもの(評価4)は、以下の事業です。
  - ① マイナンバーカードの普及啓発
    - … 交付人数が約22,000人/目標15,000人となりました。
  - ② AI議事録の導入
    - … 作業時間を約27%、当初予算額との対比で委託業務費を2,002千円/

年削減できました。

### ③ R P Aの導入

… 独自でシナリオ作成をするなど、職員の負担軽減と先端技術を活用する人材育成が図れた。

・ 思うほどの成果が得られなかったもの（評価2）

#### ① 貸館予約システム

… R2 導入予定の市民交流プラザの予約システムがR3にずれ込みました。

#### ② 地域BWAを活用した公衆Wi-Fi環境整備

… R2 導入予定の4基のうち3基が、設置予定箇所との調整により、R3にずれ込みました。（整備のための交渉はZTVで実施。）

#### ③ 子育てオンライン相談

… 個別支援の必要な方向けに案内をしていましたが、実績は0でした。  
引き続きニーズの掘り起こしや事業の周知を図る必要があります。

#### ④ （仮称）琵琶湖オープンデータ構想の実現

… システム構築の予定でしたが、官民連携での活用体制づくり等の課題があったため、R3に引き続き検討してまいります。

・ 評価1、評価5の項目はありませんでした。

## ■ 令和3年度の取組について

・ 今年度の取組のうち、新たな取組や拡大の取組があるのは以下の事業です。

### ① 新たに導入していくもの

・ 公共施設予約システム（市民交流プラザ）、チャットボットサービス、ビジネスチャット、マイナンバーカード交付・更新予約システムの導入

### ② 検討・実証実験等を行うもの

・ 公共施設予約システム導入検討、汎用性電子申請システムの共同化検討（ク

レジット決済機能付加の検討)、(仮称)琵琶湖オープンデータ構想における共同ポータルサイトの試験運用、テレワークの国実証実験の終了に伴う代替手法の検討、電子決裁システムの共同化検討

## ■今後のスケジュールについて

- ・草津市情報化推進懇話会(6/23)にて報告し、7月に工程表をホームページにて公開します。

## 用語集

| 用語              | 用語解説   |
|-----------------|--|
| A I             | Artificial Intelligenceの略。人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。  |
| A I 議事録         | 会議等で録音をした音声データを自動でテキスト化するシステム。   |
| R P A           | Robotic Process Automation の略で、人が設定した手順に従ってパソコンを使った事務処理を行う技術。<br>システムへの入力手順などを「シナリオ化」することで、繰り返しの入力作業を自動化できる。   |
| Wi-Fi           | 無線 LAN アダプターのブランド名。米国の業界団体、Wi-Fi アライアンスが機器間の相互接続性を認定したことを示す。   |
| ウェブ (Web)       | インターネット上で文字・画像などをレイアウトして見せ、簡単にアクセスできるようにするための仕組み。  |
| オープンデータ         | 「機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ」であり「人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするもの」のことを言う。   |
| オンライン           | コンピューターがネットワークやほかのコンピューターと接続している状態。  |
| システム            | 目的を遂行するための体系や組織。コンピューターの分野では、ハードウェア、ソフトウェア、OS、ネットワークなどの、全体の構成を指す。また、何らかの目的・サービスのために、ソフトウェアやハードウェアを連携して構築されたコンピューター環境のこと。   |
| スマート            | 電子機器が組み込まれた。ハイテクであるさま。   |
| スマート自治体 (電子自治体) | 国や地方自治体が、行政サービスの向上のために Web 上で行なっている行政サービスのこと。利用者にとっては、これまで紙、印鑑で行なってきた各種行政手続が、Web 上の情報交換のみでできるようになり利便性があがる。また、自治体の業務面でも、情報のペーパーレス化による効率化、双方向のコミュニケーションを可能にする電子メールや Web サイトを活用した業務の拡充が見込まれる。 |

|                  |   |
|------------------|---|
| スマート自治体滋賀モデル研究会  | 滋賀県、大津市、近江八幡市、草津市で情報通信技術（ICT）を活用したスマート自治体の実現を目指すことを目的に情報収集、意見交換、調査、取組の実証等を行うため設立した研究会                           |
| チャットボット          | 「チャット」と「ボット（ロボット）」を組み合わせた言葉で、人工知能を活用した「自動会話プログラム」のこと。   |
| ビジネスチャット         | ビジネス利用に特化したコミュニケーションツールのこと  |
| ポータルサイト          | インターネットを利用して目的の情報に行き着くため、閲覧者が最初にアクセスする入口の役割を持ったウェブサイト。  |
| マイナンバー           | 日本国内に住民票を有する全ての方が一人につき1つ持つ12桁の番号のこと。マイナンバーは行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平、公正な社会を実現するための社会基盤。                              |
| マイナンバーカード        | マイナンバー制度で、本人の申請により交付されるICカード。氏名・住所・生年月日・性別・顔写真・個人番号（マイナンバー）などが表示され、本人確認の際の公的な身分証明書として利用できる。                     |
| 地域 BWA           | Broadband Wireless Access の略。地域広帯域移動無線アクセスシステム。地域の公共サービスの向上や条件不利地域の解消など、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システム。 |
| （仮称）琵琶湖オープンデータ構想 | デジタル経済への進化を図るため、滋賀県全域で行政のオープンデータおよび民間企業等が保有するビックデータを積極的に活用する環境を創出することを目指す。                                      |